

利用者各位

関宏範

豊洲ものづくりセンター安全講習会

豊洲ものづくりセンターには機械的・熱的・電氣的に動作する機械が多いため、扱い方を誤れば死亡したり、障害を負ったりする可能性があります。このため、下記の点を十分に守ってご利用ください。

1. 指導教員の方と連絡を密接にしてください。利用していることを指導教員の方が知らないということはやめてください。万一の場合に備え、各自の指導教員の方の連絡先を把握しておいてください。
2. 大学では、緊急連絡体制をキャンパスごとに整えています。防災センターや消防署、指導教員など連絡することを把握し、心がけてください。大学が発行している安全の手引を読み、理解し、守ってください。
3. 各自自分の入っている保険を把握してください。（基本的に学研災は全員。生協は任意で加入しています。）裏面に学研災請求までの流れを載せています。
4. 保健室の場所を確認してください。2階学生課奥のトイレ近くにあります。
5. 持病を持つ方については指導教員の先生と、利用するかしないかを相談してください。
6. 基本的に機械的な動力部位（主に回転）がある装置に対しては手袋をしないでください。巻き込まれ死亡や大怪我に繋がります。（グラインダーは飛び出す切子の運動エネルギーが高いので逆）。手首などにつけるアクセサリ、首につけるネクタイも外してください。髪の毛の長い方はまとめ、前に出ないように固定するなど対応してください。
7. 切子が発生する装置については保護メガネを装着してください。また回転している切子には絶対に触れないでください。手を切ります。また、発熱しておりすぐに触るとやけどをする可能性があります。

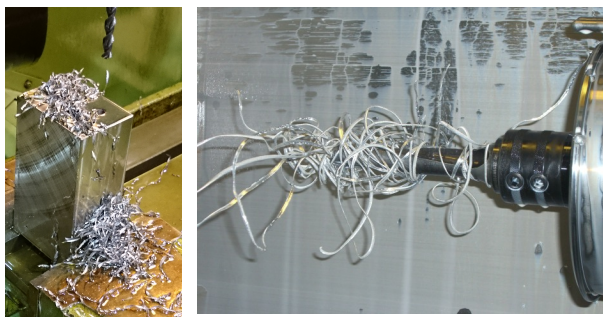


図1 （左）物を削ると削りカス（キリコ）が出ます。

図2 （右）ドリルに巻き付いた切子。非常に鋭く回転中に触ると肉が切れ危険です。絶対に機械を止めてから取り除くこと。

8. 作業者の後ろを通る時は、周囲に気を配り合図を送ってください。
9. 4Sを心がけてください。4Sとは安全で、健康な職場づくり、そして生産性の向上をめざす活動で、整理(Seiri)、整頓(Seiton)、清掃(Seiso)、清潔(Seiketsu)を行うことをいいます。躰(Shitsuke)を加えて5Sと呼ぶことがあります。
10. 正しい服装を心がけてください。セーターなどのふわふわの服装は引火や巻き込まれの可能性があります、駄目です。ホームセンターなどで売っている作業着が良いです。
11. 床が油で汚れている、散乱物があるなどあればスタッフに連絡してください。
12. 体調が悪いときは利用しないでください。（飲酒時は絶対ダメ）
13. 慣れない機械を無理に操作しないでください。
14. 機械の操作は原則として1人で行ってください。
15. 機械を作動させたまま現場を離れないでください。

以上